

## 美しい多摩川フォーラム・第3回運営委員会議事録

日 時 : 平成29年3月14日(火)15:00~16:30

会 場 : 立川グランドホテル(JR立川駅北口)2階ソアーベ

出席者 : 会長 細野 助博 中央大学大学院公共政策研究科委員長・教授  
副会長 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授  
副会長 平野 啓子 語り部、大阪芸術大学教授  
副会長 平岡 治房 青梅信用金庫 理事長  
委員 蛭間 浩之 東京都西多摩建設事務所 管理課長  
輪千 徳也 青梅市 建設部 計画調整担当 主査  
橋本 昌 羽村市 産業環境部長  
西村 亜輝彦 狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主事  
太田 武彦 大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課 計画調整担当係長  
小澤 順一郎 青梅商工会議所 会頭  
組澤 伊浩 京王電鉄(株) 広報部 主任事務員  
大東 一裕 東京急行電鉄(株) CSR推進室CSR推進部 環境課課長  
石上 恵 (公財)とうきゅう環境財団 広報・渉外担当  
渡邊 勇 おうめ水辺の楽校運営協議会会長  
山崎 充哲 ガサガサ水辺の移動水族館館長  
加藤 太 (株)JTBコーポレートセールス法人営業西東京支店 営業第二課長  
馬場 真人 近畿日本ツーリスト(株) 首都圏西団体旅行支店 課長  
浅見 芳雄 (特非)緑の大地会 理事長  
藪田 雅弘 中央大学経済学部教授  
永尾 昌文 (公財)東京市町村自治調査会 総務部長  
梶田 隆弘 クラブツーリズム(株) 取締役地域交流部長  
高山 千弘 エーザイ(株) 執行役員知創部部長  
森田 昇 青梅信用金庫会長  
宮坂 不二生 青梅信用金庫 特別アドバイザー  
アドバイザー 奥山 文弥 東京海洋大学客員教授

(敬称略、以下同様)

配布資料 : (第1号議案)平成28年度事業決算見直し(案)  
(第2号議案)平成29年度事業計画・同予算(案)  
(第3号議案)平成29年度総会の開催日程等について(案)  
(資料 1)「多摩川酒蔵街道」号で行くお座敷列車の旅に企画協力(2/18)  
(資料 2)東北復興支援シンポジウム～桜が紡ぐ東北の未来～(3/11)  
(資料 3)第8回桜ウォーキングと桜守学校開催(3/30)  
(資料 4)第8回“美しき桜心の物語”の語り会(日の出町寶光寺)(4/8)  
(資料 5)桜ウォーキング:羽村取水堰と玉川上水(4/5)、高尾・多摩森林科学園～  
南浅川桜並木と陵南公園(4/12)  
(資料 6)第6回“美しき桜心の物語”の語り会(四十番・山形県月岡公園)(4/15)  
(資料 7)平成29年度・会議&シンポジウムの予定

## 1. 開会（運営委員会成立の確認、資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成28年度第3回運営委員会を始めさせていただきます。本日の運営委員会は、出席委員、代理出席委員、書面議決書提出委員合せて51名で運営委員総数の過半数を超えておりますので、フォーラム規約第13条3項の規程により、本委員会が成立しておりますことをご報告いたします。

始めに「多摩川の歌」の普及策の一環として、皆様にもぜひ親しんでいただきたいということで、本日は歌詞朗読バージョンでお聞き下さい。次に、本日初めて運営委員会にご出席される方をご紹介します。

（京王電鉄株式会社 広報部 主任事務員 組澤 伊浩 様）

組澤と申します。前回の部会でも申し上げましたが、私は日野市で生まれ育ち、家のすぐ横が多摩川という環境でした。今後も皆様のお役に立てるようにしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

（公益財団法人 とうきゅう環境財団 広報・渉外担当 石上 恵 様）

石上と申します。部会は何度か出席しておりますが、本日は小野木が所用で欠席のため、代理で出席しました。どうぞよろしくお願いいたします。

## 2. 細野会長挨拶

（細野会長）

皆さんこんにちは。平成28年度第3回目の運営委員会です。お陰様で、10周年記念の概要についてはだいぶ姿が見えてきましたが、今日は、せっかく皆さまにご出席いただきましたので、これからの10年をどうするかという話もいただきたいと思います。それでは、事務局から経過報告をお願いいたします。

## 3. 経過報告

（事務局）

経過報告に入ります。前回1月の運営委員会以降に実施された活動につきまして、お手元の資料の表紙に時系列でお示しております。

(1)「多摩川酒蔵街道」号で行くお座敷列車の旅に企画協力(2/18)【資料1】

- ・ 【資料1】をご覧ください。「多摩川酒蔵街道」号で行くお座敷列車の旅ですが、主催のJR東日本八王子支社にお聞きしたところ、2月18日に予定どおり実施され、一人のキャンセルもなく、120名満席で大変好評とのことでした。本件につきまして、小澤運営委員より一言申し上げます。

(小澤運営委員)

西多摩には酒蔵が5蔵あり、私は酒造組合西多摩支部の支部長をやっております。今回、JRさんの企画で「多摩川酒蔵街道号」という地酒列車を走らせました。今回で2回目です。行きは地酒列車でしたが、帰りは酔っ払いばかりでした(笑)。1回目は、帰りの列車に乗り遅れた方がタクシーでお帰りになったということもございました。今回は改善し、参加された方は全員無事お帰りになりました。「多摩川酒蔵街道」の目的は、東京に酒蔵があることを知らない方にPRして知っていただき、親しんでいただいて、いずれはご愛飲いただくということです。ついでに酒の源である多摩川の上流も見ていただいて、東京の街の懐の深さ、多面性を感じてもらいたいと思っています。「多摩川酒蔵街道号」はPRとして大変良い企画ですので、ぜひ来年もよろしく願いいたします。

(2) 東北復興支援シンポジウム～桜が紡ぐ東北の未来～(3/11)【資料2】

- ・ 【資料2】をご覧ください。東日本大震災からちょうど6年目となる先週土曜日、東北・夢の桜街道推進協議会、美しい山形・最上川フォーラム、美しい多摩川フォーラム3者の主催で開催され、200名の募集に対し、230名の方にご来場いただきました。当日ご来場いただいた平野副会長に一言お願いします。

(平野副会長)

大変感動したシンポジウムでした。今までも何度か多摩川フォーラムでシンポジウムを開催していますが、今回は名誉会長である篠塚さんもお登壇されるということで、勉強を兼ねて参加しました。

はじめに細野会長から、心のこもった開会挨拶をいただきました。「3.11を絶対に風化させてはいけない」と、普段は優しい細野会長が、眼光鋭くお話をされました。酒蔵街道も順調に進み、こういったことを進めて一日も早く復興したいと力強くおっしゃっていました。さらに新聞記事をお持ちになり、被災者の方々の人数を読み上げてくださいました。正しい人数をお伝えすることの大切さを感じました。

続いて「津波そして桜」という短編ドキュメンタリー映画の上映がありました。これは協議会で一度上映しており、私も久しぶりに拝見しました。私のように2度ご覧になった方は、それぞれご感想があったと思いますが、私は今回の上映に大変衝撃を受けました。震災直後に観た時よりも大きな衝撃でした。何故なら、当時は映画だけではなく、テレビのどのチャンネルでも被災している様子が映し出されていましたが、6年経った時点で改めて観ると、映画の中の証言者の声のひとつひとつ心の中に深く刻まれました。映像も、独立したものとして心に深く残りました。それは、今、そういった映像も声も周りに全く無いからではないかと思いました。ですから、私の心の中に新鮮なものとして映し出されたのです。心の中にこんなに風化が起こっていたのかとびっくりしました。しかしまだ6年です。映画を目の当たりにして心の中に当時が蘇るということもありました。これがもつと

後に観ていたら、蘇らせることも難しかったのではないかと、このタイミングで観ることができて、心の中の風化を食い止めることができ良かったと思いました。篠塚名誉会長や細野会長が、この映画を協議会の財産にしたいとおっしゃっていましたが、ぜひそうならば良いですし、そうなったあかつきには、映画に登場された証言者の皆さんを取材に行きたいとすら思いました。

映画上映後、篠塚名誉会長のミニ講演がありました。講演の冒頭で、「多摩川フォーラムに入ったきっかけは宮坂さんだ」という話とともに、宮坂さんが篠塚さんに初代会長をお願いする際、日本酒をお届けしたからだとおっしゃっていましたが、美味しい日本酒を飲んで感激して会長を引き受けたというお話でした。講演の中で一番印象的だったお話は、「3.11を単に日本の災害の象徴的なものと捉えるのではなく、一瞬にして全てを失ってしまう、世界各国で起きている中のひとつとして普遍的なものとして考え、世界に向けて発信していくことが大切ではないか」という言葉でした。世界を見渡すと、一瞬にして命が無くなる、全てが無くなることがあります。たまたま日本では地震や津波等の災害であったということです。シンポジウム当日の夜、私が別の追悼式に出席した際、この話をしたら、被災地現場に携わっていた方々は、大変感心し、その通りだとおっしゃってました。

最後にパネルディスカッションがありました。細野会長の素晴らしいコーディネートで、少ない時間の中、皆さんがそれぞれのお立場で、復興に向けて様々な取り組みをお話されているのが、心の奥底に伝わってきました。パネリストのひとり、釜石コミュニティ支援プロジェクトマネージャーの山口さんが、「自分たちの成果を自分たちのものとしてアピールしないから、自分たちの活動があまり発信できていない」とおっしゃってました。「活動した成果は、被災地で頑張ったところに全部いくようにしている。その方たちの成果にしているから活動が知られにくい」とおっしゃってました。大変素晴らしい心掛けだと思いました。こういう方たちの活動は知られないし、モデルケースにしにくい所があるのだと思いますが、そうであれば、誰が誰に対して伝えるべきだろう、良いものを誰がどこに対して伝えるべきなのだろうかと感じました。未熟な私が一番前の席でこれだけ感動しましたので、参加された方はものすごく感動したのではないかと思います。

### (3) 第8回桜ウォーキングと桜守学校開催(3/30)【資料3】

- ・ 【資料3】をご覧ください。今春も第8回桜ウォーキングと桜守学校を都立小金井公園で開催します。3月1日に、後援の小金井市様のご協力により、小金井市報、フォーラムのホームページに実施内容を掲載し、募集を開始しました。

～平成29年度の予定～

(1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

①4/8: 第8回“美しき桜心の物語”の語り会(日の出町・寶光寺、語り部・平野啓子副会長)【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。今春は、日の出町・寶光寺で開催します。3月1日に、後援協力ということで、広報「日の出」、フォーラムのホームページに実施内容を掲載し、募集案内したところ、早々と満員になりました。本件につきまして、平野副会長に一言お願いします。

(平野副会長)

毎年開催しておりますが、多摩川流域の活性化や、川をもっときれいにしようという心を持っていただくために、私も力を入れて参加しています。今回で8回目となり、東北復興支援にも結び付きました。この語り会は、会場となる寶光寺さんのお心や、事務局スタッフが一生懸命裏方を務めてくれます。地味な語り会ではありますが、気持ちを言葉で伝えているつもりですので、一度ぜひいらしてください。瀬戸内寂聴さんの、叶わぬ恋、すごく色っぽい男女の恋愛物語を語ります。桜のシーンが取りたててきれいな作品です。他の日本文学で書かれている中では、「細雪」と並ぶくらい桜のシーンが美しいです。作品を楽しむという意味でもいらしていただければ幸いです。

(事務局)

②4/5: 羽村取水堰と玉川上水～福生多摩川堤防、美しい多摩川フォーラム、羽村市、福生市、リビング多摩、大谷桜守、田村酒造場【資料5】

③4/12: 高尾・多摩森林科学園～南浅川桜並木と陵南公園、美しい多摩川フォーラム、京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守、多摩森林科学園【資料5】

- ・ ②、③につきましては、【資料5】をご覧ください。サンケイリビング社と連携して今年も開催します。特に羽村のコースは、「多摩川夢の桜街道」と「多摩川酒蔵街道」をひとつにまとめた贅沢なコースです。

(2) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業(東北・夢の桜街道推進協議会)

①4/15: 第6回“美しき桜心の物語”の語り会(四十番・山形県月岡公園・語り部・平野啓子副会長)【資料6】

- ・ 【資料6】をご覧ください。第6回目となる今春は、山形県にある日本の宿「古窯」において開催されます。なお、今回の開催で東北6県を一巡し、これが最終回となります。本件につきましても、平野副会長に一言お願いします。

(平野副会長)

「日本の宿古窯」と言えば、女将さんが東北女将会の会長をされるなど、泊りたくてもなかなか手が届かない、立派な旅館です。現地の方々の色々なお心をいただきながら、第6回目、最終回となります。これは多摩川フォーラムの語り会をそのまま踏襲したものです。桜の時期には少し早目ですので、3～4部咲きくらいかなと思われませんが、タイミング良く咲いてくれれば良いと思います。第1回目は三春滝桜でしたが、県外から大勢の方に来ていただき、福島県内で泊って食べてお土産を買っていただく支援を始めました。200名の参加のうち半分は県外のお客様でしたので、一人が1万円使えば、100万円が地元へ落ちたこととなります。その後も毎年続けていますが、そろそろ支援の仕方を変えたほうが良いと思っていたところ、最終回となりました。東北の方は、瀬戸内寂聴さんの作品を気に入っている方が多いので、「しだれ桜」を披露するとともに、地元まつわる話をセットにしています。山形ではどんなお話を披露しようかと、楽しみながら考えております。これを機会に、古窯という旅館を楽しむということも含め、ぜひいらしてください。ちなみに古窯の女将さんは、協議会の活動や東北復興支援に大変理解のある方で、ご自身も行動されている方です。ぜひよろしく願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。以上で、経過報告を終わります。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

事務局からの経過報告で、他にご質問などございますか。ないようですので、本日の協議事項に入りたいと思います。第1号議案の「平成28年度事業決算の見通し(案)」について、事務局の方からご説明をお願いします。

#### 4. 協議

(1) 第1号議案:平成28年度事業決算の見通し(案)

(事務局)

第1号議案:平成28年度事業決算見通し(案)をご覧ください。平成28年度は、8月に予定していた「炭焼き体験と水辺の交流会」、11月に多摩川中流域の多摩市で開催を予定していた「美しい多摩川クリーンキャンペーン」が悪天候のため中止となったこと以外は、ほぼ、計画どおり順調に推移しております。まず、収入の部ですが、会費収入は、当初予算2,100,000円に対し、1,950,000円を見込んでおります。これは、主に、大口会員が会費納入口数を減少させたことなどによります。寄付金Ⅱの100,000円ですが、これは、寄付金Ⅰの青梅信用金庫様からの寄付金8,000,000円とは別に、「多摩川夢の桜街道応援定期積金」を販売したことに伴う寄付金になります。寄付金Ⅲの454,178円ですが、これは、東急百貨店様が昨年実施したココエコチャリティーイベント

による寄付金になります。寄付金Ⅳの183,910円ですが、これは、たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALKを通じて寄せられた大田区民有志の皆さんからの寄付金になります。委託金の55,080円ですが、これは、炭焼き体験と水辺の交流会が悪天候により中止となったため、下振れしております。

一方、支出の部ですが、運営委員会、3活動部会の金額ですが、これは会場費の値上げにより、上振れしております。美しい多摩川クリーンキャンペーンですが、これは今年度の参加が9団体増え、合計で37団体となったことによるポスター制作費等の増加により、上振れしております。その他、経費削減努力により、次期繰越金見込額は、3,132,796円(うち1,371,935円は、毎年、大田区民有志の皆さんから寄せられた桜の植樹募金の積立金残高)となります。以上で第1号議案の説明を終わります。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。会費収入が下振れしていますが、それについて説明をお願いします。

(事務局)

ここ数年、会員数が若干減少傾向にあることと、当初10口納めていらっしゃった方が、5口になる等、入会された時よりも口数を減らしていることにより、会費収入が減っています。特に高齢者の方が、身体が動かないことを理由に退会されるケースが増えていきます。

(山崎運営委員)

今、会員数が減っているという話がありましたが、手元に配られたパンフレットを見ると、「会員募集中」という文言がどこにもありません。また、振込用紙も付いていて当然ではないでしょうか。高齢化は仕方ありませんが、口数が減ったのであれば頭数を増やさなければダメだと思います。事務局では会員の年齢層のグラフはありますか？グラフがあれば、どんな年齢層の人が会員になっているのか分かるので。

(事務局)

出すことはできます。今日は持ち出しておりませんが。

(山崎運営委員)

分かりました。いずれ見せてください。

(細野会長)

素晴らしいご提案を有り難うございました。事務局として対応をお願いします。

(事務局)

配布しているパンフレットですが、もっと簡易なA41枚バージョンもあり、そこには会員募集の文言が入っていて、イベント時にはそちらを配布しています。会員減少の話でしたが、毎年新規入会者はいます。しかし、退会者数がそれを上回っているという状況です。

(細野会長)

山崎さんの素晴らしい提案に加え、それぞれの行政毎に会員数がどうなっているのかを出すと良いかもしれません。他にご意見・ご質問がなければ、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。有り難うございました。次に、第2号議案の「平成29年度事業計画・同予算(案)」を、事務局の方からご説明をお願いします。

## (2) 第2号議案:平成29年度事業計画・同予算(案)

(事務局)

【第2号議案】をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は2,000,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、10周年記念事業寄付金として、さらに青梅信用金庫様より2,000,000円、匿名A社様より10周年記念事業寄付金として500,000円、東急百貨店様より300,000円、青梅信用金庫様より「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴う寄付金として100,000円、委託金として青梅市様より250,000円を予定しており、前期繰越金3,132,796円と合わせて合計では16,282,796円となります。

一方、支出の部ですが、総会等運営費として、4,190,000円、各種活動費として10,696,000円を計上しております。そのうち、網掛け部分は10周年記念事業で、合計では5,126,000円となります。なお、東北・夢の桜街道運動として、例年同様、2,000,000円を計上しておりますが、これは東北復興支援事業として、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出します。この結果、次期繰越金見込額は1,396,796円となり、合計では、16,282,796円となります。

次ページをご覧ください。10周年記念事業関連費用を纏めたものになります。網掛けの事業が10周年記念事業により、新たに資金負担が発生する案件になります。10周年記念事業費合計は、5,126,000円となります。なお、「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所」の選定先等見直しに伴うマップ改訂、公式ホームページ改訂費用については、平成30年度以降に予算化を検討しているものです。平成29年度段階では予算に計上されておりません。また、美しい多摩川フォーラムの森(青梅)の記念植樹イベ



ントですが、東京都農林水産振興財団の年度計画の中で対応することが当初より想定されているものであり、新たに資金負担は発生しません。シンボルマークの制作ですが、フォーラム法人会員のアルピン株式会社様より、「無償で協力する」とのお申し出がありました。

一方、既存事業の見直しにより、削減額合計は2,626,000円となります。その結果、不足事業費は2,500,000円となり、青梅信用金庫様からの2,000,000円と匿名A社様の500,000円で賄う予定です。

1月の運営委員会、2月の三部会合同部会での議論を踏まえ、10周年記念事業をはじめ既存事業も含めて実施事業の見直しを行い、記念誌の金額を大幅に削減するなど、事業費総額の削減に努めた結果、会員の皆さまに寄付金をお願いしなくても済むような事業計画に修正いたしました。

次ページは、平成29年度事業計画の主な実施内容になります。アンダーラインの9つの事業が10周年記念事業になります。簡単にご説明させていただきますと、まず、経済軸では、「多摩川カヌー駅伝大会」への協力です。次に、多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所の選定先等見直しについては、経年劣化の桜があることもあり、この際、八十八カ所の一部入れ替え等の見直しを行うものです。

環境軸では、美しい多摩川フォーラムの森(青梅)において、“桜”の記念植樹を行うイベントです。9月に実施する予定で、東京都農林水産振興財団様と調整を始めたところでは、

教育・文化軸では、平野副会長とお弟子さんたちによる「多摩の物語」の語り会です。9月に実施する方向で、検討を始めたところでは、

総合軸では、10周年記念シンポジウムを考えました。10年間の実践活動を総括し、今後 10年間で展望した内容で検討しています。7月29日に、昭島市のフォレスト・イン昭和館で開催を計画しております。

10周年記念誌発行ですが、発足前後より10年間の足跡を冊子化すると共に、公式ホームページにも掲載したいと考えています。100年プラン・パンフレットの改訂版発行についてですが、10周年記念を踏まえたものとし、さらに、前回発行時以降、フォーラムの事業活動が進化・発展しているため、実態に合わせてリニューアルしたいと考えています。

シンボルマークの制作ですが、10周年を機に新たに制作し、今後のフォーラム活動に活用できればと考えています。

ドローンを活用した多摩川の空撮ですが、桜が咲き誇る春に行い、その映像を様々な事業活動のPRに有効活用したいと考えています。

次ページは、平成29年度事業計画(案)の趣旨説明になります。その次のページは、美しい多摩川フォーラム・平成28年度活動報告と今後の予定について纏めたものになります。今年度も、年度末には年間を通じて、50を超える事業活動を実施することになり

ます。後ほど、じっくりご覧ください。以上で第2号議案の説明を終わります。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。10周年記念事業については、事務局でかなりご努力なさって、皆さまに新たなご負担をお願いすることは無くなりました。特にないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。有り難うございました。次に、第3号議案の「平成29年度総会の開催日程等 について(案)」を、事務局の方からご説明をお願いします。

(3) 第3号議案:平成29年度総会の開催日程等について(案)

(事務局)

第3号議案をご覧ください。平成29年度の総会につきましては、5月27日(土)9時半～11時半を予定しております。開催場所については、例年通り、昭島市のフォレスト・イン昭和館を予定しております。なお、平成29年度は役員改選期に当たるため、3. 開催内容(5)その他において、運営委員・監事の選任(案)を予定しております。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。有り難うございました。以上で、3つの議案が全て承認されましたので、協議事項を終わります。なお、第1号議案から第2号議案までは、総会付議事項ですので、念のため申し添えます。では、事務局より、意見交換をお願いします。

## 5. 意見交換

(1) フォーラム設立10周年の活動計画(事務方素案)について

(事務局)

只今ご承認いただいた10周年記念事業の実施に向けて、本日は今年度最終の運営委員会になりますので、できるだけ多くの皆さまに、ご意見をお願いしたいと存じます。

特に、100年プラン・パンフレットの改訂版発行についてですが、お手元の資料、美しい多摩川フォーラムと書いてある100年プランのパンフレットをご覧ください。このパンフレットは、平成26年に発行しましたが、その後、多摩川酒蔵街道や多摩川カヌー駅伝大会の実施等、進化・発展しているため、実態に合わせて、さらに10周年記念を踏まえた内容にリニューアルしたいと考えております。

ぜひ、皆さんにご提案等いただけたら幸いに存じます。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

折角の機会ですので、ご質問やご提案等ありましたら、ぜひお願いします。1月の運営委員会では、意見交換の時間が十分取れませんでした。今日は時間的に少し余裕があります。それでは、本日もご出席の皆様、時計回りの順番に一言お願いします。

(東京都建設局 西多摩建設事務所 管理課長 蛭間 浩之 様)

所長の石坂の代理で参加しております。トップである小池都知事が良く横文字を使うのですが、うちの庁舎内の文書等には「ライフワークバランス」や「コンプライアンス」等の長いカタカナ文字が増えています。知事が良く使う言葉の中に、「サステイナブル(持続可能な)」があります。多摩川フォーラムの活動は、青梅信金さんを中心とした民の方と、各自治体である公の力と、各市民団体さんが参加され、経済・環境・教育文化と広い範囲で魅力ある取り組みをされています。こういう活動は他にないと思いますし、素晴らしいものだと思っております。10周年はひとつの節目ではありますが、ここで無理をして持続可能な活動に支障が出てはいけないので、今日事務局から提案いただいた内容は、バランスが取れていて良いと思います。青梅信金さんが無理をされていなければ、良くまとまった案だと思います。多摩川フォーラムのパンフレットもビジュアルに訴えるものがありますが、若い人はスマホ等で情報を得る時代ですので、そういったメディアを使う方法があれば良いと思います。

(細野会長)

有り難うございました。持続可能性はとても大事です。これからの10年間はそれに尽きると思います。青梅信金さんの話も出ましたが、青梅信金さんなしでは支えられませんので、引き続きよろしくお願いします。

(大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課 計画調整担当係長 太田 武彦 様)

区長の松長の代理で出席しております。大田区議会の元議長である河津元議長が、「たまりバー50キロ命名記念Run&Walk」の実行委員長を務めており、大田区としても楽しく参加させていただいております。今後も引き続き参加させていただきますので、よろしくお願いします。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主事 西村 亜輝彦 様)

市長の高橋の代理で出席しております。狛江市では、多摩川フォーラムの事業に賛同させていただく形で、イベントラリーを開催しています。また、今年度からクリーンキャンペーンにも参加させていただくようになりました。イベントラリーについては、多摩川流域11自治体と連携して実施しています。多摩川流域のイベントを通じて、自治体の発展に寄与できれば良いと思っております。資料の中で、「カヌー駅伝大会(青梅～昭島)に

協力」とありますが、今後はぜひ狛江市も広域連携させていただき、昭島から狛江市、さらには大田区や川崎市さんもありますので、何か協力できることがあればよろしく願います。10年後、100年後を見据え、こういった物理的な連携だけではなく、世代間の連携もできれば良いと思います。例えば私が親と一緒にカヌー駅伝大会に参加したとしたら、30年後には私が子どもを連れて参加できるような、世代間を越えた連携ができれば良いと思います。予算との兼ね合いもあるかと思いますが、そういったことができれば、多摩川の価値をもっと高めていくことができるのではないかと思います。

(京王電鉄株式会社 広報部 主任事務員 組澤 伊浩 様)

少子高齢化で会員の年齢が高くなっているとお聞きしましたが、弊社も鉄道会社なので、少子高齢化は死活問題として対策をとっています。来年から有料の列車を走らせ、少しでも単価を上げようと考えております。私は広報で仕事をしておりますが、弊社が数年前までやっていた沿線ウォーキングがあり、余りにも多くの方が参加しすぎて警備等にお金がかかり、地域の方にも迷惑だということで、中止になった経緯があります。失礼な言い方かもしれませんが、高齢者はかなり元気でたくさん参加しています。また高尾山でも高齢者の方が山登りをしています。どうしたら元気な高齢者の方に会員になってもらえるのかを考えたほうが良いと思います。じゃあ、多摩川流域でどんどんウォーキングイベントをやれば良いと言うと、警備等にお金がかかったりしますので、なかなか難しいジレンマがあると思います。立派なパンフレットがあっても、配るとお金がかかります。今後、どうやって知名度を上げるかを議論していけば良いのではないかと思います。

(細野会長)

知名度はとても大事です。皆さんにもご協力をお願いいたします。

(京王電鉄株式会社 広報部 主任事務員 組澤 伊浩 様)

協力できるところはさせていただきたいと思いますので、言っていただければと思います。

(青梅商工会議所 会頭 小澤 順一郎 様)

先ほどは酒蔵のお話をさせていただきましたが、今は別の立場で意見を述べさせていただきます。個々の活動はそれぞれ意義深いものなのですが、果たして多摩川フォーラムという組織でやらなければならないことなのかな、と思う事業もあります。地酒がそれに該当してしまうと困るのですが、私が例えば多摩川フォーラムのことを知らない人に説明する時、どういう事をやっているのかや、アイデンティティーについて話をしますが、「そんなに一杯やっているんだ。でも何をやっているの？」となりがちなのです。10年目という節目なので、原点に戻る必要はないかもしれませんが、多摩川フォーラム

らしい活動というものをもう一度協議してもらえればと思います。例えば、多摩川の源流から河口まで組織している団体というのは他にないと思いますので、眼のつけどころはすごいと思うので、その中で何をやるべきかを考えるのはとても面白いことだと思います。先ほどカヌー駅伝大会の話も出ましたが、それではなく、水干から何かを繋いで河口に行くという活動ができたらと思っています。

(細野会長)

重要なお指摘をいただきました。フォーラムならではのものを見据えた形で選択・集中をしたほうが良いというご意見でした。有り難うございます。

(中央大学 経済学部教授 藪田 雅弘 様)

多摩川フォーラムらしさということですが、経済面から見ても、点はあるのですが、面になっていません。これをどうやって面にしていくか。そして、どうやって持続可能なものにしていくか、です。もし万が一、多摩川の桜が病気になり、枯れてしまったら、多摩川夢の桜街道は立ちいかなくなります。そういったところに依存し過ぎると、全体がダメになってしまいます。パンフレットを見ると、経済においては「多摩川の観光ルートづくり」とあります。これは大変なことです。桜は季節的なものですので、季節によっては効果を発揮しません。ではどうしたら良いのかを考えると、やはり川だと思います。新しい資源開発は必要だと思います。桜に関わることや、水に関わること、文化資源等に何か新しいものを加えていきたいと思っています。子どもの頃、笹舟を作って川で流し、どこまで流れていくかをやったものですが、それを上流から下流までやってみるとか、テレビでヒヨコのおもちゃを流したりもしていますが。あまりお金のかからない、何か新しい資源開発が必要です。仮にそれをやったとして、参加はどうするのかとなりますので、やはり一番は情報発信だと思います。我々会員自身が、季節ごとに感じた多摩川の姿をLine やツイッター等で情報発信して見ていただき、拡大していけば知名度もアップするだろうし、知名度が上がれば会員も増えると思います。「持続可能」と言うと守るという印象が強いですが、これを発展させながら進めていきたいと思っています。

(公益財団法人 どうきゅう環境財団 広報・渉外担当 石上 恵 様)

桜ウォーキングなど、アクティブなイベントも大事ですが、10年経って一番大切なのは、川のきれいさだと思います。地味な活動ではありますが、水質調査の基本に戻ることも大切ではないかと思っています。活動していくと、変わっていくことも大切ですが、変わらないことも持って、我々も賛同しながら、一緒に守り発展させていくことが大事なのではないかと思っています。我々の財団でも、多摩川や河川、環境に対して色々な勉強をしてくださっている方のご意見も集まっていますので、何かの形でフィードバックさせていただければ良いと思います。一緒に考えていきたいと思いですので、よろしくお願ひします。

(クラブツーリズム株式会社 取締役地域交流部長 梶田 隆弘 様)

「多摩川の観光ルートづくり」という話がありましたが、ここ2年半ほど国として地方創生をうたいながら、地域間の交流人口の拡大をしています。そういう意味では、同じ方向性なんだなと思っています。先ほど守っていくことも大事だと話がありましたが、交流していくことによって地域を活性化していくことがまだまだで、逆に守ることが先になっているのではないかと思います。我々旅行会社として、「このエリアにお客様を送るルートづくり」や行程づくりをやっておりますが、まだまだゆるいのかなと思っていますし、地域にあるコンテンツを軸に、しっかり新しいものを作っていくことが、次の段階で必要であるということと、どちらかという内向きになっているので、これだけの外国人が来ているのに多摩地区に来ている数はまだまだ少ないと思いますので、情報発信をしていくべきだと思います。ネットで情報発信していく必要があると思います。

(細野会長)

多摩地区はゴールデンルートから外れています。であれば、組み入れる必要があるかもしれません。藪田先生のご意見である、資源開発に繋がってくる話かもしれません。有り難うございました。

(近畿日本ツーリスト株式会社 首都圏西団体旅行支店 支店課長 馬場 真人 様)

支店長前田の代理で出席しました。質問になりますが、毎年仲間と楽しみに参加していた「大人のカヤック体験教室」が、今年度から「親子カヤック体験教室」に変わってしまい、がっかりしているところです。「大人のカヤック体験教室」は復活する予定があるのでしょうか。復活していただければ大変嬉しいです。会員以外の方も沢山参加しています。美しい多摩川フォーラムを知ってもらえる良いチャンスだと思います。「だったらカヌー一駅伝大会に参加すれば良いじゃない」と言われると技術が伴わないので困ってしまいますが、今後復活するのかどうか、お聞かせください。

(事務局)

貴重なご意見有り難うございます。実は、10周年記念事業を絞り込むにあたり、「多摩川カヌー一駅伝」との関わりで、一部2重化してしまうところがあります。また、他に「カヤック体験教室」を実施している先から、こちら側の料金が安すぎて営業妨害だ、配慮してほしいと言われた経緯もございます。それに対する答えとして、子どもや親子を対象としたカヤック体験教室については、「カヌー一駅伝大会」をやっていく上で必ずニーズが出てくるであろうから、先ほど申し上げた「カヤック体験教室」を実施している事業者と連携して、「カヌー一駅伝大会」と併設する形で実施し、腕を磨いていただいて「カヌー一駅伝大会」に参加していただくような、好循環になれば良いと思っています。いずれにしても、今後は多摩川フォーラムがメインでやるのではなく、業者さんにも会員になってもらい、

業者さんと協力する形でできればなど考えているところです。費用の問題もありますので、まずは「カヌー駅伝大会」一本にしたということです。

(東京海洋大学 客員教授 奥山 文弥 様)

アドバイザーとして参加しています。以前、とうきゅう環境財団さんから助成金をいただき、多摩川フォーラムから本を出していただきましたが、その後選考委員になってしまいましたので、自分で企画が立てられなくなってしまいました。多摩川フォーラムのパンフレットですが、主催者の名前を載せるべきところに「東北・夢の桜街道」が紹介されていて、まるで「東北・夢の桜街道」のパンフレットのような作り方になっています。皆さんも指摘されているように、内容が偏っています。多摩川に対するトータルのブランディングを見直したほうが良いと思います。私たちは多摩川がどこを流れているか知っていますが、北海道の山奥の人がこのパンフレットを見て、多摩川がどこを流れているのかわかりません。東京都と書いてありません。多摩川をブランディングするにあたっての見落としではないかと思います。色々な遊びの提案もしていただき、多摩川のブランドを作って、我々が何をやっているのか明確にして、会員を増やしていくというスタイルが良いのではないかと思います。

(細野会長)

パンフレットを隅から隅までお読み下さり、有り難うございます。参考にさせていただきます。

(特定非営利法人 緑の大地会 理事長 浅見 芳雄 様)

最近、八王子にある3000坪の荒れた里山をお預かりしました。そこを整備して、子どもたちにツリークライミングを体験してもらったり、桜の植樹もしてみたいと思っています。それが何か多摩川フォーラムのお役に立てれば良いなと思っています。

(株式会社JTBCコーポレートセールス法人営業東京多摩支店

営業第二課長 加藤 太 様)

私は生れてから多摩を離れたことがございません。多摩川が流れているのは知っていましたが、多摩川に行ったことはほとんどありませんでした。多摩川フォーラムに参加して、多摩川がこんなにきれいになったんだというのを知りました。そこなんだと思います。この先10年は、多摩川に触れていただくために何をするかだと思います。「カヌー駅伝大会」の時、多摩川に架かる拝島付近の橋で、立ち止まって見ている人が沢山いました。そういった活動を通じて、多摩川に目を向けてもらうのが、我々のやるべきことなのではないでしょうか。

(ガサガサ水辺の移動水族館 館長 山崎 充哲 様)

パンフレットの印刷ですが、ラクスルだとA4・5000枚で64,800円です。折り込みタイプでも130,000円ほどです。次回、「印刷費が下振れしました」という報告がほしいです。現行のパンフレットには制作年月日も発行部数も入っていません。どれくらいを誰に配ったのかも分かりません。それについても検討をお願いします。全体的なところでは、狛江のいかだレースや、京王クリーンキャンペーンなど、色々やっていたら大変良いと思います。高尾山にはお金を持った高齢者がいるのに、子どもは少ないです。子どもを持つ親も、今食べるのに精一杯です。私も、経済的にも心にも余裕のある人たちが子どもたちを川に引っ張り出せるものを作っていきたくと思っています。私自身、去年は小学校に180回も出前授業に行きましたが、夏休み明け、子どもたちは痩せるのです。一日に一回しか食事できない子どもが、1クラスに4～5人はいる地域もあります。そういう子たちは、こういったイベントに参加できないのではないかと思います。何かしてあげたいと思っても、企業さんたちはすぐに動けないと思います。そういう時は、私たちのようなボランティア団体を利用して下さい。でも、できれば少しお金をください。ボランティアだけで動いていたら飯を食えません。小学校に行ってもお金はもらえませんので。ライフジャケット400着の維持費だけでも馬鹿になりません。

(細野会長)

重要な指摘ですね。ちゃんと事業化できれば良いなと思います。

(おうめ水辺の楽校 運営協議会 会長 渡邊 勇 様)

おうめ水辺の楽校を立ち上げて5～6年経ちます。最初は子どもたちがなかなか集まらなかったのですが、山崎運営委員が講師を務めてくださり、子どもたちも一度に100人集まるようになりました。多摩川沿いの水辺の楽校は20校ほどあります。ドローン撮影の際には、一部で結構なので、水辺の楽校も空撮に入れて紹介していただきたいと思っています。多摩川沿いには魚道も沢山ありますので、できれば桜だけではなく、魚道も空撮していただきたいと思っています。

(細野会長)

有り難うございました。それでは、最大の支援者である青梅信用金庫の森田会長、よろしく申し上げます。

(青梅信用金庫 会長 森田 昇 様)

今は多摩川フォーラムの副会長を平岡に任せていますので、私はもっぱら実務部隊を担当しています。今日は皆さんから色々なご意見をいただいて大変嬉しく思いました。思い起こせば、このフォーラムは、ゼロからスタートしたのです。何も無いところから始め



てここまで来たので、今を見て運営委員の皆さんが「これは良い、これはもっと工夫したほうが良い」等のご意見をいただけるようになったのだと嬉しく思います。経済・環境・教育文化軸と3つのテーマを掲げているので、ある意味、少し硬いのかもかもしれません。奥山さんのおっしゃるように、遊び心や楽しい要素がないと、人は集まらないのではないかと思います。これからは、もっと楽しい要素を加えて行ったほうが良いのではないかと思います。また、メディアの活用も必要な時代であると実感しました。ただ残念なのは、収益事業ができないことです。ですから、目的を皆でもう少し考えて、どういふことで社会に貢献していくかをはっきりさせ、それに特化して事業を進めていくようにしたらどうかと考えています。

(細野会長)

有り難うございました。多摩川フォーラムは、プラスと掛け算でやってきました。ぜひこの精神だけは続けていきたいと思ひます。

(東京急行電鉄株式会社 CSR推進室CSR推進部 環境課 課長 大東 一裕 様)

当社はもともと二子玉川の再開発事業を請け負っている最中に多摩川フォーラムに入会しました。その再開発事業自体は完成し、今は環境課が窓口として会議などに出席しています。先ほどお話があったように、会員数が増えないということですが、中流から下流域ではまだ多摩川フォーラムの活動が知られていないと思ひますので、我々も沿線緑化活動をやっておりますし、二子玉川の近くに東京都市大学があり、環境学部がありますので、東急グループとしてできることをこれからの10年で見出していきたく思ひています。

(青梅市 建設部 計画調整担当主査 輪千 徳也 様)

市長の浜中の代理で出席しております。うちの市長が、最近良く「遊びにおいでよ。青梅で遊ぼうよ」と言っております。自分たちが楽しまなければ面白いものではないと思ひます。予算もあるので大きい事は難しいかもしれませんが、地道な努力や継続は力になるのではないのでしょうか。青梅市も縦割り行政で色々とお叱りを受けますが、多摩川フォーラムさんを通じて色々な連携ができれば良いと、個人的な意見も交えて申し上げます。

(羽村市 産業環境部長 橋本 昌 様)

市長の並木の代理で出席しました。私が多摩川フォーラムに関わって1年ほどになります。「美しい多摩づくり運動」に経済・環境・教育文化とありますが、産業環境部はまさに経済と環境の両方を所管する部署です。皆さんの色々な話を伺って、まずかったな、と思ひましたのは、羽村市の予算委員会が昨日で終わってしまい、羽村市として、美し

い多摩川フォーラムともしっかりと緩やかに結びついていかなければならないと改めて感じました。羽村市としても、緑の体験教室や水辺観察会、花と水のまつり等色々なことを全て産業環境部でやっておりますが、羽村市も人口が減少傾向にあり、ピーク時から1700人減っています。26市の中で知名度・認知度は26番目です。9.9平方キロメートルしかない自治体ですが、こういった広域連携を強めていくことによって、西多摩全体の地域活性化を図っていくためには、環境を守るだけでなく、賑わいを創出しなければいけないと、改めて感じました。羽村市でも、部下を通じて色々な働きかけを行い、積極的に多摩川フォーラムに賛同していきたいと考えております。帰ったら秘書にも報告したいと思っております。

(細野会長)

並木さんは東京市町村自治調査会の会長でもいらっしゃいますので、ぜひお伝えください。

(公益財団法人 東京市町村自治調査会 総務部長 永尾 昌文 様)

岸上の代理で出席しました。事業計画を見ていますと、色々なことをやりすぎている気もいたします。「ゆるく繋ぐ」ということが基本にありますので、色々なことをやっても皆が繋がっていけば良いのかなと思います。沿線自治体や旅行業者さんと連携し、色々なルートづくりをしていけば良いと思います。先ほど山崎さんから、子どもの貧困の話もありましたが、色々なところで繋がっていかないと、社会の問題は解決しないと思います。大切なのは、助けるほうにまわるということです。助けられる人たちがばかりだと、世の中は回っていきません。少なくともここにいらっしゃる皆さんは、助ける側の人たちだと思っていますので、この会が発展していけば良いと思っています。

(細野会長)

有り難うございました。皆さんから貴重なご意見をいただきました。全て記録させていただきます。これらの意見を、これからの10年に反映していくことをお約束したいと思います。その他、事務局で何かありますか。

(2)その他【資料7】

(事務局)

【資料7】をご覧ください。平成29年度の会議・シンポジウムの予定となっておりますので、手帳に書き込んでいただければと思います。以上です。

## 6. 総括・閉会

(小倉副会長)

皆さんからご意見を伺う良い機会だったと思います。キーワードとして、持続可能という言葉が出てきました。多摩川を通して人と人が繋がって、地域を活性化させるにはどうしたら良いかという意見交換ができました。有り難うございました。

(平岡副会長)

今日は皆さんから貴重なご意見をいただき、有り難うございました。美しい多摩川フォーラムのシンボルは多摩川です。先ほどもとうきゅう環境財団の石上様から「川をきれいに」というお話がありましたが、多摩川は笠取山の水干の一滴から始まり、それが東京湾に注ぎます。笠取山でくんで来た水を、今日この場でコップに注いだら、皆さんには飲んでいただけるのですが、下流でくんで来た水は、さすがに多摩川フォーラムの会員の皆さまといえど、飲めないのではないのでしょうか。今は美しい多摩川100年プランのたった10年目です。先はまだまだ長いですが、本当にきれいな水を後世に残していきたいと思っています。有り難うございました。

(細野会長)

私は感銘を受けました。青梅信金さんが100年間支えてくださるそうです。ぜひ期待したいところです。それでは、平成28年度第3回運営委員会をお開きにいたします。今日は有り難うございました。

以 上

(美しい多摩川フォーラム事務局)